

2020 年度 授業計画(シラバス)

|                                                                             |        |             |                                   |                                                        |           |                   |                       |
|-----------------------------------------------------------------------------|--------|-------------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------|-----------|-------------------|-----------------------|
| 学 科                                                                         |        | 言語聴覚士学科     |                                   | 科 目 区 分                                                | 基礎分野      | 授業の方法             | 講義演習                  |
| 科 目 名                                                                       |        | 医療倫理学       |                                   | 必修/選択の別                                                | 必修        | 授業時数(単位数)         | 30 (1) 時間(単位)         |
| 対 象 学 年                                                                     |        | 一年次         |                                   | 学期及び曜時限                                                | 前期 金曜4限 他 | 教室名               | 406教室                 |
| 担 当 教 員                                                                     |        | 門脇 康浩 他     | 実務経験と<br>その関連資格                   | 門脇:介護老人保健施設、病院で言語聴覚士として言語聴覚障害、摂食嚥下障害のリハビリテーションを実施していた。 |           |                   |                       |
| 《授業科目における学習内容》                                                              |        |             |                                   |                                                        |           |                   |                       |
| 医療に関わるにあたり、誰もが考え取り組まざるをえない倫理学を学ぶ。<br>特殊な倫理学を学ぶ前に、共通の土台となる基本的な医療倫理学を学ぶ必要がある。 |        |             |                                   |                                                        |           |                   |                       |
| 《成績評価の方法と基準》                                                                |        |             |                                   |                                                        |           |                   |                       |
| 筆記試験(100点)で評価する。                                                            |        |             |                                   |                                                        |           |                   |                       |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》                                                           |        |             |                                   |                                                        |           |                   |                       |
| 配布資料                                                                        |        |             |                                   |                                                        |           |                   |                       |
| 《授業外における学習方法》                                                               |        |             |                                   |                                                        |           |                   |                       |
| 他者とのコミュニケーションを図り、多様な価値観を共有し理解できるように心掛ける。                                    |        |             |                                   |                                                        |           |                   |                       |
| 《履修に当たっての留意点》                                                               |        |             |                                   |                                                        |           |                   |                       |
| 多様な価値観の中で医療従事者だけではなく、患者の立場に立った思考をもてるようにする                                   |        |             |                                   |                                                        |           |                   |                       |
| 授業の<br>方法                                                                   |        | 内 容         |                                   |                                                        | 使用教材      |                   | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容 |
| 第<br>1<br>回                                                                 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 伝統的な医の倫理と現代の医の倫理の違いが理解できる         |                                                        | 配布資料      | 特になし              |                       |
|                                                                             |        | 各コマにおける授業予定 | 「医の倫理 倫理学とは」の講義、グループワーク           |                                                        |           |                   |                       |
| 第<br>2<br>回                                                                 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 医療における規則・義務などの情報についての他の班の意見を共有できる |                                                        | 配布資料      | 前回の講義について理解していること |                       |
|                                                                             |        | 各コマにおける授業予定 | 規則・義務・倫理的ディレンマについての講義、グループワーク     |                                                        |           |                   |                       |
| 第<br>3<br>回                                                                 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 無加害・善行・公正(正義)について説明できる            |                                                        | 配布資料      | 前回の講義について理解していること |                       |
|                                                                             |        | 各コマにおける授業予定 | 倫理原理についての講義、グループワーク               |                                                        |           |                   |                       |
| 第<br>4<br>回                                                                 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | インフォームドコンセントについての他の班の意見を共有できる     |                                                        | 配布資料      | 前回の講義について理解していること |                       |
|                                                                             |        | 各コマにおける授業予定 | インフォームドコンセントについての講義、グループワーク       |                                                        |           |                   |                       |
| 第<br>5<br>回                                                                 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | パターナリズムを理解できる                     |                                                        | 配布資料      | 前回の講義について理解していること |                       |
|                                                                             |        | 各コマにおける授業予定 | パターナリズムについての講義、グループワーク            |                                                        |           |                   |                       |

| 授業の方法 |            | 内 容             |                                               | 使用教材 | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容 |
|-------|------------|-----------------|-----------------------------------------------|------|-----------------------|
| 第6回   | 講義<br>演習形式 | 授業を通じての<br>到達目標 | 自己決定主義と共同体主義を代理出産のGWを通して理解できる                 | 配布資料 | 前回の講義について理解していること     |
|       |            | 各コマにおける<br>授業予定 | 「倫理委員会 ・自己決定主義と共同体主義」・「代理出産」についての講義、グループワーク   |      |                       |
| 第7回   | 講義<br>演習形式 | 授業を通じての<br>到達目標 | 功利主義と義務論の違いについて説明できる。秘密保持は、各専門職の法律の何条にあるかを知る。 | 配布資料 | 前回の講義について理解していること     |
|       |            | 各コマにおける<br>授業予定 | 功利主義と義務論、秘密保持についての講義、グループワーク                  |      |                       |
| 第8回   | 講義<br>演習形式 | 授業を通じての<br>到達目標 | カルテ開示、医による危害について理解し説明できる                      | 配布資料 | 前回の講義について理解していること     |
|       |            | 各コマにおける<br>授業予定 | カルテ開示・医による危害についての講義、グループワーク                   |      |                       |
| 第9回   | 講義<br>演習形式 | 授業を通じての<br>到達目標 | 実験研究の倫理について説明できる                              | 配布資料 | 前回の講義について理解していること     |
|       |            | 各コマにおける<br>授業予定 | 実験研究の倫理についての講義、グループワーク                        |      |                       |
| 第10回  | 講義<br>演習形式 | 授業を通じての<br>到達目標 | 出生前診断の事例を通して優生思想を理解できる                        | 配布資料 | 前回の講義について理解していること     |
|       |            | 各コマにおける<br>授業予定 | 優生思想についての講義、グループワーク                           |      |                       |
| 第11回  | 講義<br>演習形式 | 授業を通じての<br>到達目標 | 生殖操作 ・出生前診断についての他の班の意見を共有できる                  | 配布資料 | 前回の講義について理解していること     |
|       |            | 各コマにおける<br>授業予定 | 生殖操作 ・出生前診断についての講義、グループワーク                    |      |                       |
| 第12回  | 講義<br>演習形式 | 授業を通じての<br>到達目標 | 遺伝子診断・治療についての他の班の意見を共有できる                     | 配布資料 | 前回の講義について理解していること     |
|       |            | 各コマにおける<br>授業予定 | 遺伝子診断・治療についての講義、グループワーク                       |      |                       |
| 第13回  | 講義<br>演習形式 | 授業を通じての<br>到達目標 | 臓器移植についての他の班の意見を共有できる                         | 配布資料 | 前回の講義について理解していること     |
|       |            | 各コマにおける<br>授業予定 | 臓器移植についての講義、グループワーク                           |      |                       |
| 第14回  | 講義<br>演習形式 | 授業を通じての<br>到達目標 | 実験研究の倫理について説明できる                              | 配布資料 | 前回の講義について理解していること     |
|       |            | 各コマにおける<br>授業予定 | 実験研究の倫理についての講義、グループワーク                        |      |                       |
| 第15回  | 講義<br>演習形式 | 授業を通じての<br>到達目標 | 緩和ケアやホスピスについて意見を共有できる                         | 配布資料 | 前回の講義について理解していること     |
|       |            | 各コマにおける<br>授業予定 | 緩和ケア、ホスピスについての講義、グループワーク                      |      |                       |